

第2回熊取検定・熊取子ども検定

正解数が悪かった問題の解説

熊取検定

○永楽ダムの近くに、2015年秋「永楽ゆめの森公園」が開園しました。天候の良い日には、家族連れでたいへん賑わっています。永楽ダムが完成したのはいつでしょうか。

- ① 1958年（昭和33年）② 1963年（昭和38年）③ 1968年（昭和43年）

【解説】

永楽ダムは、昭和40年（1965年）に着工し、昭和43年（1968年）に完成しました。このダムは見出川の上流に、灌漑用水・上水道水を確保するために築かれ、熊取町の重要な用水源となっています。また、みどりの百選、水源の森百選などに選定されるなど緑豊かな自然と桜の名所となっています。（熊取町ホームページより）

○雨山の頂上の土丸雨山城跡は、南北朝時代に紀州と泉州を結ぶ粉河街道をおさえることを目的に、楠木氏一族の***が、居城として整備されたと言われ、紀泉国境の重要な山城です。さて、この城がある雨山の頂上付近に、樹齢400年とも言われる古木があります。その古木が評価されて、2016年4月に大阪府天然記念物（植物）の指定を受けました。さて、その古木は何でしょうか。

- ① 山桜 ② 山桃 ③ 山ツツジ

【解説】

熊取町大字野田の雨山（標高312m）の山頂には、平成25年10月17日に国史跡日根荘遺跡に追加指定された室町時代の山城「土丸・雨山城跡」があります。その最高地点には現在雨山神社（雨山龍王社）が鎮座しており、その社前には樹高8.5m、幹回り3.8m、枝張1.2mを測るひときわ大きなヤマモモがあります。

山頂にあって冬の強い季節風の影響を受けるために樹高が低いものの、高地でありながらこれだけの大きさがあることが珍しく、また、巨大な山城が築かれた雨山の中央部にある古木であることなどが評価され、平成28年4月5日に大阪府の天然記念物（植物）の指定を受けました。

このヤマモモの樹は雌木で、4月頃に開花し、5月から6月にかけて赤い実をつけます。樹齢については現在のところ不明ですが、江戸時代の地誌「和泉志」の日根群の部に、泉佐野の大木・土丸や熊取の高田付近にヤマモモが自生していたことが記されています。（熊取町ホームページより）



○明暦年間（1655～1658年）に慈照寺を中興したと言われる中家18代当主は誰でしょうか？

- ① 中左近盛秀 ② 中左近盛行 ③ 中左近盛重

【解説】

1888年（明治21年）の「寺院明細帳」に、「創立年月不詳、明暦年間中左近森（盛）行堂宇造営シ、盛行法名慈照院ト称ス故、慈照寺ト称シ、盛行中興開山ナリ」と記されています。（熊取町・熊取町教育委員会「熊取の歴史」より）

熊取子ども検定

○長池オアシスには、60種類ものハスが植えられています。さて、ここで行われるハス祭りは何月でしょうか？

- ① 4月 ② 7月 ③ 10月

【解説】



夏のイベント：長池オアシスハスまつり

7月中旬に満開のハスの鑑賞とあわせ、ハス茶やハス酒、ハスの実ぜんざいが振舞われます。（くまとりにぎわい観光協会ホームページより）

○平安時代に熊野詣の際、中家住宅を行宮（仮設の御所）とされたのは誰でしょうか？

- ① 天智天皇 ② 後鳥羽上皇 ③ 後白河法皇

【解説】



中家は平安時代、後白河法皇が熊野御幸の時に立ち寄り、行宮（仮設の御所）とした由緒ある泉南地方の旧家です。（熊取町ホームページ 重要文化財中家住宅より）

○熊取町周辺では、独特な方言があります。くまとりにぎわい観光協会が編集した「熊取

方言カルタ」では、「ねきに」は、【意味：側（近く）に】、「もむない」は【意味：不味い】、

「にくそい」は【意味：ぶさいくな】などを紹介しています。次の方言は、なんと解釈

されているでしょうか？ 「あが」とは

- ① ^{せんせい}先生 ②あなた ③ ^{わたし}私

^{かいせつ}
【解説】

あががやるから、ようみちよれ：^{じぶん}自分（^{わたし}私）がやるから、よく

^み見ておけ（くまとりにぎわい観光ホームページより）

